

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 共助社会づくり課
 担当名: NPO認証担当
 内線: 2815

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
p7	県民活動総合センター管理事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民活動総合センター管理運営費		
事業期間	平成元年度～令和10年度	根拠法令	県民活動総合センター条例			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール		
						分野施策	0806 多様な主体による地域社会づくり	SDGsターゲット		
1 事業概要	<p>県民活動総合センターの運営により、県民活動を促進する。</p> <p>同センターは各活動分野を複合した大規模な施設のため、管理運営を指定管理者に委任することにより、効率的に利用者サービスの向上を図る。</p> <p>ア 県民活動総合センター管理事業費 △9,283千円 イ システム改修費等 △19,379千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県民活動総合センター管理事業費 指定管理者による県民活動総合センターの管理運営 321,116千円</p> <p>イ 彩の国市民活動サポートセンター運営事業費 指定管理者による彩の国市民活動サポートセンターの運営 9,796千円</p> <p>ウ システム改修費等 ハードネットワークシステムの改修等 61,900千円</p> <p>(2) 事業計画 県民活動総合センターの管理を指定管理者に委任し、効率的に利用者サービスの向上を図る。</p> <p>(3) 事業効果 県民活動総合センターの利用者数 平成22年度: 702,054人 → 令和元年度: 728,659人(コロナ前。コロナ後は令和5年度745,057人) 【主要アウトプット】県民活動総合センター、彩の国市民活動サポートセンターの運営 【主要アウトカム】施設利用者数 748,000人 施設の利用者満足度 90%以上</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 事業の実施に際し、NPO、ボランティア、大学、企業、行政等との連携を図っている。 ア NPO、ボランティア等と連携し、「彩の国いきいきフェスティバル」等イベントを開催。 イ 各市町市民活動サポートセンター、大学ボランティアセンターと連携し、「埼玉市民活動サポートセンターネットワーク」(サボセンネット)を運営、市民活動支援機能強化を図る。 ウ 大学連携講座等を開催し、生涯学習機会を提供。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 光熱水費が見込みを下回ったことによる指定管理料の減額及び執行残の減額(歳出) イ ハードネットワークシステムの契約差金による減額(歳出) ウ 行政財産使用料が見込みを上回ったことによる増額(歳入)</p>						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.2人=11,400千円									
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の予算額
決定額	△28,662	993						△29,655	392,812	
現計額	421,474	2,284						419,190		

事業内訳書

事業名	県民活動総合センター管理事業費		
単位事業名	県民活動総合センター管理事業費	予算額	△ 9,283千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 行政財産使用料	993	—	行政財産使用料 駐車場等
一般財源	△10,276	—	
合計	△9,283	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△8	—	経費節減による減
需用費	△4	—	経費節減による減
役務費	△2	—	経費節減による減
委託料	△9,269	—	光熱水費が見込みを下回ったことによる指定管理料の減
合計	△9,283	—	

単位事業名	システム改修費等	予算額	△ 19,379千円
-------	----------	-----	------------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△19,379	—	
合計	△19,379	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△19,379	—	ハードネットワークシステムの契約差金による減
合計	△19,379	—	